

## 議事録

### 平成 24 年度文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム 拡大研究推進委員会

日 時：平成 24 年 11 月 9 日(金)10:00～12:00

場 所：東北大学 工学部中央棟 2 階 大会議室

参加者：15 名

議事：

- 開会 (10:00-10:05)  
中塚勝人プロジェクトリーダーより挨拶があった。
- 進捗状況報告 (10:05-10:20)  
宮本明研究推進委員長よりこれまでの活動内容の報告があった。  
(参照：<http://www.miyagicar.com/スケジュール/>)
- 今後の予定 (10:20-10:30)  
宮本明研究推進委員長より今後の予定が発表された。  
(参照：<http://www.miyagicar.com/スケジュール/>)
- 意見交換 (10:30-11:50)
  - ・中塚勝人プロジェクトディレクター  
「産学官の知のネットワーク」の構築のためには、研究機関（大学）側のコーディネータ、企業側のコーディネータが必要。本来ならば研究機関・企業どちらにも精通しているコーディネータが双方に対応するのが理想的だが、現段階ではまだそこまでの人材が育っていないのが現状なので、大学側・企業側コーディネータがうまく連携を取っていくのが良いのではないか。
  - ・みやぎ産業振興機構 産業育成支援部部長 中塚朝夫氏  
産学連携を推進する部署におり、今回のプロジェクトには興味がある。もっと地域企業にこのプロジェクトに参加してもらい、地域の活性化につなげていくお手伝いをしていきたい。
  - ・宮城県産業技術総合センター 自動車産業支援部長 古川博道氏  
地域企業が自動車産業に参入していけるよう、支援していきたい。具体的には、まず大学のシーズをまとめ、どの研究内容が自動車メーカーの仕事の中のどの過程で活用でき

るのかを考え、こちらから自動車メーカーに提案していく。その過程に地域企業を参入させるよう誘導していきたい。いくつかの研究室が共同で動くことも想定して、グルーピングもしている。各研究室の持つ技術に関して、もっと詳しい情報が欲しいので、各研究室を直接訪問させて頂くことも検討している。今後はみやぎ産業振興機構・宮城県自動車振興室と協力しながら進めていきたい。

⇒宮本明研究推進委員長：大学内では産学連携本部にも協力してもらいたい。

⇒中塚プロジェクトディレクター：企業は研究情報を外に出さないのが、大学シーズと企業ニーズをつなげるのは簡単ではないのでは？

⇒古川博道氏：メーカーにニーズを尋ねるのではなく、こちら側から大学シーズを提案していく。生産技術を外に出せないのは仕方のないことだが、メーカー・地域企業・大学のつながりが一度できてしまえばうまくいくのでは。

⇒宮本明研究推進委員長：一度の提案でうまくいなくても、何度もトライすることで相手のニーズをつかんでいけるのではないか。大学のデータベース等も利用し、県と大学で力を合わせていきたい。

・東北大学 畠山望准教授

現在は大学シーズをもとに企業ニーズへの方向性を探っているが、大学シーズからだけでなく地域企業のシーズからの可能性も探っていくこともできるのでは。

・宮城県産業技術総合センター 所長 伊藤努氏

大企業はやはりニーズをはっきりと伝えてくれることは少なく、地域企業はどういった形で手を挙げればいいのかわからない。こちら側からどんどん提案していくしかない。

・東北大学 厨川常元教授

こちら側から提案していく形は良いと思う。しかし、大学が提供できるのは将来を見据えたシーズであり、提案を受け入れるかどうかの判断は本社になってしまうため、本社の方々とのつながりを作るのも大切。講師として招くだけでなく、こちらから訪ねていくのも一つの方法。

・宮城県産業技術総合センター 研究連携推進監 兼 企画・事業推進部長 矢口仁氏

大企業のニーズに関しては、正確なニーズを直接伺うことは難しいし、大学教授にも機密保持などの問題があるため、持っている情報の中で仮説を立て、積極的に働きかけていくしかないのではないかと。

・事務局 野崎さくら氏

5年という期間は短いので、成功させるために積極的にアイデアを出していただきたい。

・東北大学 産学連携推進本部国際連携部 菅原由氏

機密保持に関してはやはり難しいところもあるが、まずは学内での協力を強めていきたい。産学連携推進本部で大学のシーズもまとめているので、ぜひ活用してほしい。

・東北大学 西澤真裕客員准教授

中小企業はやはり利益がある話でなければ動きづらいのが実情。どのように大学シーズと結び付けていくかが難しいところ。

⇒宮本明研究推進委員長：どのような補助金をどのように使えるのか、といった利益に関する話も大事。また、大学にある先端機器を共用できるのも地域企業にとってはメリットとなるはずなので、アピールしていきたい。

- ・東北大学 産学連携推進本部リエゾン室 岩淵正太郎氏

県で主催しているイベントに東北大学で出展している。本プロジェクトで中小企業の出展を促すのも良いのでは。

- ・東北大学 猪股宏教授

関連する展示会があった場合、本プロジェクトとしての展示をしたらどうか。

●閉会

(11:50-12:00)

宮本明研究推進委員長より挨拶があった。